

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

地理総合＋地理探究

法学部コア試験・
文学部（英語英米文化学科）プラス試験

出題の意図

交通機関の長所・短所

南アジアに関する地誌

日本の水産業

秋田県北部・青森県南部の地誌

アフリカに関する地誌

南アメリカに関する地誌

上記の出題分野に関する理解度を問う問題から、基本的かつ重要な知識を有していることを確認した。

解答又は解答例

I. 問1 ① エ ② コ ③ イ ④ サ ⑤ オ
⑥ ケ ⑦ ウ ⑧ ア ⑨ カ ⑩ シ

II. 問1 A. b B1. c B2. g B3. e
C1. a C2. f C3. i C4. g C5. h
D1. e D2. a D3. c E1. d E2. b

問2 グローバルサウス

問3 (1) A え B い C あ

(2) え

問4 C

III. 問1 か

問2 (1) D あ E う F い

(2) ①静岡県 ②島根県

問3 (1) さんま

(2) (解答例)

地球温暖化による海水温の上昇により、暖水系のぶり類が北上し、北海道での漁獲量が増加した。一方、低水温を好むさんまは、近年の親潮(千島海流)の弱化とそれに伴う道東・三陸沖の海水温上昇により、日本付近まで回遊しなくなり、北海道での漁獲量が減少した。

問4 (解答例)

河川上流部に豊かな森林が広がると、海藻やプランクトンにとっての栄養素が河川を通じて運ばれるため、海では魚介類が豊かに育っていく。上流での森林の消失や荒廃は漁獲量の減少につながるため、漁業者が山地での植樹活動などを行い、持続可能な漁業に取り組んでいる。

IV. 問1 秋田

問2 カルデラ (湖)

問3 田沢

問4 白神山地

問5 干拓

問6 潟湖 海跡湖

問7 (解答例)

北部の川(現米代川)からの堆積物による砂嘴と南部の川(現雄物川)からの堆積物による砂嘴が島に接続して男鹿半島が形成された。

V. 問1 ① 楯状 ② 卓状 ③ 安定 ④ アトラス
⑤ ヴィクトリア ビクトリアなど ⑥ エチオピア
⑦ 青 ⑧ スーダン ⑨ オアシス 灌漑
⑩ モロッコ チュニジア アルジェリアなど
⑪ マグレブ ⑫オリーブ 小麦 コルクガシなど

問2 (解答例)

上流のエチオピア高原における夏季のモンスーン(季節風)による地形性降雨や、サイクロン(熱帯低気圧)の影響などのため。

問3 流量の大部分を上流の湿潤地域に依存し、砂漠地帯を貫通する河川

問4 (解答例)

マダガスカル島の中央高地による「雨陰(雨影)効果」と、南東貿易風(卓越風)による乾燥した風の吹き込み、および亜熱帯高圧帯の影響があるため。

問5 船舶類

VI. 問1 (1) ① エ ② オ ③ イ ④ ウ ⑤ ア
(2) (解答例)

高地の乾燥した気候と閉鎖的な盆地地形により、海に流れ出る河川がなく、溶け出した塩分が湖に濃縮されやすいため。

(3) (解答例)

①大豆栽培や牧畜のための農地拡大、木材生産、焼畑農業、鉱山開発、道路やダムなどのインフラ建設など
②生物多様性の喪失、CO2 排出量の増加、水質・土壌汚染、先住民の生活基盤破壊など

VII. 問1 (1) A か B お C え D い E う F あ

(2) ① モノカルチャー経済

② (解答例)

国際価格変動や自然災害に脆弱であり、価格暴落は国家収入を激減させ、財政危機や社会不安を招く。また、産業の多様性が育たず、経済成長が限定的となる。

解答の際の留意点

- I. 4種類の交通機関の長所と短所を問う基本的な問題です。多くの受験生が正解を導いていました。
- II. 問1は、南アジアについての地形・地名・気候・宗教・民族を問う基本的な問題です。問2は最近の国際情勢によく出てくる用語です。問3は南アジアの農業地域の分布について教科書などでよく見られる図です。問4は、a、b、dがインドの現在の状況を表しているため、cを知らなくても消去法で解ける問題です。
- III. 日本の水産業については高校で学習する時間が少ないためか、本問は比較的正確する受験生が少ない問題でした。しかし、日本の水産業は小学校・中学校でも学んでいるので決して解けない問題ではありません。ぶりは全国各地で漁獲・養殖されていますが、特に千葉県、長崎県、石川県、島根県、富山県などが主要な産地として知られています。近年は海水温の変化により北海道などでの漁獲量も増加していることに気づけば正解にたどり着けます。問4のキーワードは、豊かな森林、海藻やプランクトンにとっての栄養素、河川を通じて運ばれることなどです。「森は海の恋人」運動を説明しても正解にたどり着けます。
- IV. 問1から問4までは基本問題です。問5で、「埋め立て」は不正解です。埋め立ては他所から土砂を運んで水面を埋め尽くす（標高が海面より高い）手法で、主に工業地・宅地用です。正解の干拓は堤防で囲い内部の排水・干上がらせにより陸地にする（標高が海面より低い）手法で、主に農地用です。問6は「八郎潟」と答えた受験生が多かったですが、地形名を求めているので潟湖、海跡湖が正解となります。問7は、沖にある島が2つの砂嘴によってつながる様子、すなわち2つの砂嘴のでき方を説明できれば正解を導けます。
- V. 問1は造山運動と世界の陸地に関する基本問題です。問2のキーワードは、モンスーン、エチオピア高原、地形性降雨などです。問3のような基本用語は教科書や用語集でおさえておく必要があります。問4のキーワードは、南東貿易風、雨陰砂漠、亜熱帯高圧帯などです。問5は、日本とリベリアの貿易で船舶類が顕著な品物であり、比較的知られている内容です。
- VI. 問1は地図帳を日頃からたくさん眺めておく必要があります。「地図を読む」というくらいですから楽しんで学習することをお勧めします。問2は貿易関連の出題です。表の中の特徴的な数値を見つければ正解にたどり着けます。問1

(3) ①や問2(2)②は解答例なので、内容が伴っていれば正解としています。

出題の意図

報道されたニュースからの地理関連の内容

日本の農業

各種統計からみるアメリカの地誌

地球環境問題

世界の人口問題

ヨーロッパの地域統合

世界の様々な家屋・集落・居住環境

上記の出題分野に関する理解度を問う問題から、基本的かつ重要な知識を有していることを確認した。

解答又は解答例

- I. 問1 1 BRICS 2 アラブ 3 インドネシア
4 能登 5 スウェーデン
6 北大西洋条約 7 イギリス 8 佐渡島
9 南海トラフ 10 シリア

問2 Aオ Bカ Cア Dエ Eイ Fウ

問3 ① (解答例)

農業従事者の高齢化とそれに伴う減少や後継者不足

② (解答例)

新規就農者・後継者の支援や、女性や外国人など多様な人材の受け入れに向けた体制整備、スマート農業技術の活用などの取り組み推進

II. 問1 ① イ ② ア

問2 ① エ ② ア

問3 ① ウ ② イ

問4 エ

問5 イ

問6 B

問7 D

III. 問1 ① あ ② a c d

問2 (1) ア い イ え ウ う エ あ

(2) ウ エ (順不同)

(3) ① バリ協定 ② カーボンニュートラル

問3 (解答例)

長期的な干ばつと砂漠化・水資源の枯渇、大規模な洪水と集中豪雨、大規模な森林火災の頻発 などから2つ

IV. 問1 A 一人っ子政策 B 人口爆発

問2 え

問3 い

問4 人口転換

問5 人口ボーナス

問6 (解答例)

(識字率向上など) 教育の普及、雇用創出など

問7 う

問8 (解答例)

住居上の制約(狭さ、高価格)など、

教育上の制約(激しい受験競争、高い教育費)など、

性別役割分業規範などから2点

- V. ① 石炭鉄鋼 ② 経済 ③ 原子力
④ ルクセンブルク ⑤ EC ⑥ マーストリヒト
⑦ シェンゲン ⑧ ユーロ ⑨ ブリュッセル
⑩ ストラスブール

VI. ① (解答例)

湿気や動物の被害を避けるために、床を高くした家屋。湿潤な東南アジアなどに多くみられる。なお、高緯度の凍土地帯では、建物内の暖房熱が凍土に伝わり地盤をとかすことを防ぐために、高床式家屋が建てられている。

② (解答例)

スペイン語でアドベ。乾燥地帯の家の材料となる。北アメリカ・メキシコ・アフリカ西南部・中国などの乾燥地帯で使われる。粘土に石英や長石が混ざった土に藁を加えてよく練ってれんがの型に入れ、1～2週間、日に干して形成する。水にぬれると崩れやすく、地震には弱い。

③ (解答例)

モンゴルの遊牧民の移動式住居。円筒型の壁にドーム状の屋根を組み合わせたテントで、移動に便利のように組立式になっている。同様のものを中国ではバオ(包)、中央アジアではユルトという。

④ (解答例)

岐阜県白川村(白川郷)や富山県南砺市五箇山に多く見られる家屋。いずれも庄川の流域に位置し、白川郷が上流域である。切妻造りの屋根裏に、2層ないし3層の空間をもつ大型家屋である。急勾配の茅葺屋根をもち、手を合わせた合掌した姿に似ているところから「合掌造り」と呼ばれる。

⑤ (解答例)

防御や灌漑のための堀を巡らせた集落。弥生時代にもみられるが、多くは中世に発達し、稗田や竹ノ内など奈良盆地に現存する。

解答の際の留意点

- I. 問1は、世界の地理関連のニュースに関する問題です。社会の様相の変化はメディアからの情報からも取得できます。日頃から時事問題にも目を向けておくことが大切です。問2は日本の農業に関する特徴的な統計値を把握していると正解にたどり着けます。
- II. アメリカに関する地誌を統計値から読み解く問題です。統計問題に関しては、大きな特徴を捉えることでその糸口がつかめます。問1、サンフランシスコは夏季が乾燥していること、シカゴは冬季に気温が零下になること、問2、カリフォルニア州はヒスパニックが多いこと、ミシシッピ州は黒人が多いこと、問3、アイオワ州はとうもろこしと大豆、豚が圧倒的に多いこと、テキサス州は牛が多いこと、問4、アメリカはとうもろこしが多く米が少ないこと、問5、示された4か国の中で原子力発電が多いこと、問6、表中の5か国のなかでは貿易額で見たときタイとインドに多く入っていること、問7、アメリカの人口ピラミッドは先進国特有の釣鐘型であり、かつ日本（E国）のつば型のように末すばまりになっておらず、若年層がかなり確保されていることにそれぞれ気が付くことができれば正解を導くことができます。
- III. 問1は南太平洋の国々について地図帳を活用しながら興味関心をもつことが大切です。問2は、統計値のなかで大きな特徴を捉えることが大切です。表1からは先ず変化率が大きい2か国は中国とインド、変化率が小さい2か国はEUと日本であることをつかむことが鍵となります。問3は気候変動によって環境破壊される基本的なことから想定すれば正解を導くことができます。日頃から世界に関する報道に目を向けることが大切です。
- IV. 問1、問2、問3、問7は教科書を読みこんでおくことで正解にたどり着けます。問4、問5の用語問題は教科書に加えて用語集などを利用して学習することをお勧めします。問6、問8は後発展途上国や先進国の人口問題をそれぞれ整理しておくことで正解にたどり着けます。
- V. ヨーロッパの地域統合の背景に関する問題ですが、この問題は比較的多くの受験生が正解を導いていました。⑧（ユーロ）はほぼ全員正解、逆に⑩（ストラスブール）は教科書には載っているもののかなりの受験生が苦戦していた問題でした。
- VI. 地理の系統的学習の中には、衣服、食生活、住居、言葉、環境などがありますが、今回は住居が出題されました。教科書に載っているものなので、丹念に読んでおくことが大切です。できればインターネットなどで画像や由来などを調べることで、さらに印

象深い学習になります。ここに載せているのは模範解答例なので、キーワードを外さなければ加点しています。

文学部コア試験

出題の意図

西アジア周辺の地誌 地域紛争

世界の鉱山資源・エネルギー資源

世界を結ぶ貿易

中国の巨大経済圏構想

東南アジアの地誌

上記の出題分野に関する理解度を問う問題から、基本的かつ重要な知識を有していることを確認した。

解答又は解答例

I. 問1 A国 ジョージア B国 アゼルバイジャン

C国 アルメニア D国 ウクライナ

問2 ① 湾岸戦争 ② パレスチナ紛争 中東戦争

③ イラン・イラク戦争 第一次湾岸戦争 イラ・イラク戦争

問3 ア トビリン

イ バクー パイプライン名 BTC パイプライン

問4 (解答例)

領土についてのJ国(イスラエル)とパレスチナの対立は、西岸地区、ガザ地区、東エルサレムなどの領有権をめぐる争い、B国(アゼルバイジャン)とC国(アルメニア)の対立は、ナゴルノ・カラバフ地域の帰属をめぐる対立である。どちらも武力衝突と停戦の繰り返しがある。

宗教についてのJ国(イスラエル)とパレスチナの対立は、イスラエルはユダヤ教、パレスチナ人の多くを占めるアラブ人はイスラム教を信仰して対立している。B国(アゼルバイジャン)とC国(アルメニア)の対立では、イスラム教とキリスト教との対立が見られる。

国際的な関与についてのJ国(イスラエル)とパレスチナの対立は、イスラエルにはアメリカ合衆国、EUが関与、パレスチナにはアラブ諸国などが関与している。B国(アゼルバイジャン)とC国(アルメニア)の対立では、アゼルバイジャンにはアメリカ合衆国やイスラエル・トルコが関与、アルメニアにはロシアやフランスなどが関与している。特にイスラエルはアゼルバイジャンに軍事支援を行っており、両地域の紛争が間接的に結びついているという見方も一部にある。

II. Aオ Bイ Cキ Dエ Eウ Fア Gカ

III. 問1 ① エ ② ウ ③ イ

問2 ①メリット：あ、き デメリット：い、え (順不同)

②メリット：お、か デメリット：う、く (順不同)

問3 ラストベルト スノーベルト フロストベルト など

問4 CPTPP

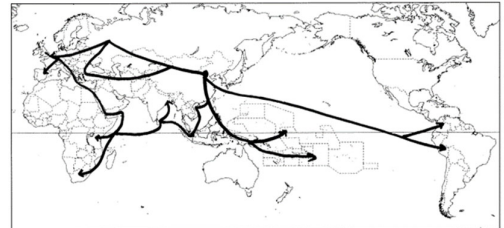
問5 X：中国 Y：オーストラリア Z：カナダ

問6 (解答例)

特例の地域や国に集中したサプライチェーンは自然災害や紛争、貿易摩擦、政情不安などにより寸断され、製品の共有が滞る可能性があるため。

IV. 問1 一带一路

問2 (解答例)



中国とヨーロッパを陸路と海上航路でつなぐ物流ルートを作り、そのルートの周辺一帯のインフラ建設と経済協力を促進しようという巨大経済圏構想のこと。一带一路への参加国は増加傾向にあり、2023年10月時点で、152カ国、32の国際組織が協力機関として中国と合意文書を締結している。アフリカ、ラテンアメリカ諸国、太平洋諸国に中国政府が多額の資本を投下し、途上国の経済発展の支援を行っている。現地への中国政府の影響力の強化や劣悪な労働環境、債務の罠、環境問題の悪化などが問題として指摘されている。

V. 問1 (解答例)

東南アジアの大半は熱帯地域であり、高床式の住居にすることで風通しをよくなり、高温多湿な気候でも比較的涼しく過ごすことができる。

問2 (解答例)

えびを生産・輸出するために、マングローブ林をえびの養殖池へ転換したため。また、養殖池は生産量が落ちると放置され、また別の場所に養殖池がつくられる。

問3 (解答例)

ASEAN諸国では、自動車部品を各国で分担して製造し、互いに部品を供給しあうことで、最終組み立てもそれぞれの国で行っている。

問4 (解答例)

首都ジャカルタでは、人口過密により交通渋滞や大気汚染、地下水の過剰くみ上げによる地盤沈下が深刻化したため。また、インドネシアの経済活動がジャワ島に一極集中しており、経済発展の遅れていた東部開発にも本格的に取り組むため。

解答の際の留意点

- I. 問1は国の位置を問う基本問題です。問2は西アジアにおける紛争名を答えますが、中東戦争と湾岸戦争の違いやパレスチナ紛争のような別称があるので整理しておくことをお勧めします。問3はアルファベットが都市の頭文字になっていることを理解すると覚えやすいです。問4は選んだ背景によって対立の構図が異なりますが、2国間のそれぞれの紛争原因を整理しておくことと正解にたどり着けます。
- II. 各資源の1位の国をヒントにして解いていくと正解に向かうことができます。銀鉱はメキシコが1位、石炭は中国が1位、ダイヤモンドはロシアが1位、鉄鉱はオーストラリアが1位、天然ガスはアメリカが1位、銅鉱はチリが1位、ボーキサイトはオーストラリアが1位です。
- III. 問1は日頃のメディアからの情報に目を向けることが大切です。問2は貿易に関する基本的な事項です。整理しておくことをお勧めします。問3はいくつかの呼称がありどれも正解です。問5は、日本の貿易相手国から考えてXが中国と分かります。またアメリカの貿易相手国から考えてZはカナダと分かります。Yはアメリカにはなくて日本の輸入3位であることからオーストラリアと分かります。問6は、製品の部品の供給先が1国（地域）であることの危険性を考えれば正解に向かうことができます。例えば、昨今（2025年～2026年）の日本におけるレアアース供給をみると、中国と日本の関係悪化から日本がレアアースの輸入がしにくくなり製品生産に影響が出ていることがありました。
- IV. 問1で一带一路は「海と陸とのシルクロード経済圏」とも呼ばれています。問2は「一带一路」構想を、シルクロード経済ベルトと21世紀海上ベルトに分けて、海外の関係都市を結ぶ線が描けていれば正解としました。中国を起点に、陸上を中央アジアからヨーロッパへ、海上をインド洋からアフリカやヨーロッパにつなげようとする広域経済圏構想で、外交や軍事面での影響力の強化を目的としています。
- V. 問1～4の解答例は模範解答です。それぞれの解答文の中のキーワードが入っていて、答えた文章が納得できるものであれば加

点しています。問1は熱帯地方で涼しく過ごす工夫、問2はマングローブ林のえびの養殖池への転換、問3は各国で部品製造を分担して互いに供給し合うこと、問4はジャカルタの人口過密による弊害やジャワ島一極集中による影響などが書けていれば加点され正解に向かうことができます。